

平成18年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

1 議題

- 議案1 平成18年度主要事業進捗状況について
- 議案2 平成19年度予算（案）の概要及び主要事業について
- 議案3 その他

2 開催日時

平成19年2月16日（金）15時00分～16時00分

3 開催場所

鎌ヶ谷市消防本部会議室

4 出席者

（1）委員

川上啓之委員（委員長）、土屋裕彦委員（副委員長）、佐藤誠委員、芝田裕美委員
山田静雄委員、三橋幸夫委員、澁谷誠幸委員、鈴木定夫委員

（2）事務局

松原正一消防長、皆川保則副参事（総務課長）、石井三郎予防課長、西村繁警防課長
海老原亨鎌ヶ谷署長、川島正二郎総務課主幹、松本禎久庶務係長、高橋順一主任消防主事
安部真司主任消防主事

5 開示・不開示について

開示

6 発言の要旨

皆川課長	傍聴の申し出がなかったことを報告し、委員会条例第5条による会議成立を報告。
皆川課長	委員長と消防長にあいさつを求めた。
川上委員長	あいさつ
松原消防長	あいさつ
皆川課長	委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務めることを伝えた。
皆川課長	事前申し合わせにより任期中は継続して佐藤委員及び山田委員が署名人とされていることを伝えた。
川上議長	議案1、平成18年度主要事業進捗状況について説明を求めた。
松本係長	平成18年度主要事業進捗状況について説明。
川上議長	各委員に質問を求めた。
佐藤委員	住宅火災警報器啓発消耗品費の用途について質問。
石井課長	既存住宅については設置期限が平成20年6月1日となっているため、それに向けての住宅火災警報器設置の啓発費用であることを説明。
佐藤議員	消防団の福祉共済制度について質問。
西村課長	消防団員が1名3千円で今年度については165名が加入。7日間入院した場合等に活用でき、公務外でも保障される保険制度であることを説明。
佐藤委員	消防庁舎耐震診断・補強事業の内容について質問。
皆川課長	3か年計画である消防庁舎耐震診断・補強事業の2か年目にあたる実施設計委託であることを説明。
川上議長	他に質問が無く、議案1の承認を求めた。
各委員	全員承認した。
川上委員	議案2、平成19年度予算(案)の概要及び主要事業について説明を求めた。
松本係長	予算議決前の要求概算額であることを前置きし、平成19年度予算(案)の概要及び主要事業について説明。
川上委員長	各委員に質問を求めた。
芝田委員	消防職員人員計画について質問。
皆川課長	消防職員の条例定数は154名であるが、現在138名と市役所出向者1名であり、今後の退職者を考慮した補充は計画しているが現状では条例定数を満たすのは困難であることを説明。
松原消防長	補足、一般的には人口1,000人当たり1人の消防職員と言われているが、これによると100人程度の消防職員ということになる。類似団体の数値では、126人程度と記憶している。隣接する大きな市との市民サービス格差を縮小するためには、まず条例定数の154名を目標としたいが財政状況が厳しい中、職員の増員は見込めず現行人員で努力している。都市部と地方では、消防環境に違いがあり、類似団体で比較するのは適当ではないことを説明。
芝田委員	国、県の補助金の動向について質問。
皆川課長	今年度、国からの補助は無く、県から石油貯蔵施設立地対策等交付金として

毎年定額799,000円を受け、車両、資機材等の整備に充てていることを説明。

芝田委員
皆川課長

はしご自動車更新計画について質問。

第3次実施計画時に平成19年度の更新車両となっていたが、第4次実施計画において市長部局との調整で平成20年度に先送りしたことを説明。

芝田委員
皆川課長

消防庁舎耐震・改修事業に伴う業務の影響について質問。

業務に支障のないよう業者との調整を行なっているが、万が一影響がでるような場合は本部1階大会議室を利用して対応できるようになっていることを説明。

松原消防長

補足、事業の概要は、望楼の撤去、スリットと筋交いを入れる工事を行うことを説明。

芝田委員
皆川課長

県の石油貯蔵施設立地対策等交付金について質問。

市川市にある石油貯蔵施設で、災害が発生した時に隣接する本市も応援に駆けつけることになっていることから配分されるもので、活動に必要な装備に充てることができることを説明。

佐藤委員
石井課長

予防業務に要する経費の増額について質問。

予防業務に要する経費の増額については、住宅火災警報器啓発用パンフレットの変更、火災予防ポスター展の参加賞等及び防火管理者講習テキストの増冊等を見込んでいることにより増額となったことを説明。

佐藤委員
総務課長

消防庁舎の改修事業の計画性について質問。

中央消防署は36年経過しており、今まで修繕等で対応してきたが、今年度トイレの配管、車庫内の空調関係パイプが腐食し、簡易な修繕では対応できない状態になってしまったため計画にはなかったが、実施することになったことを説明。

佐藤委員

鎌ヶ谷市には古い施設が多いため、必要な改修工事等は計画的に実施したほうが良いのではないかと意見。

松原消防長

当初耐震改・修工事と併せて実施しようと考えていたが、別々の事業とことから計画調整したこと、また、新消防庁舎の建設を第3次実施計画へと計上を考えていたが、他部局において大きな事業があり新庁舎の建設を先延ばしにし、その間の延命措置として改修工事を行なうことを説明。

土屋委員
皆川課長

救急救命士東京研修所と九州研修所の違いについて質問。

救急救命士養成は、両研修所で行っているが薬剤投与研修が九州研修所でしか実施されておらず、県消防学校でも薬剤投与研修があるが平成19年度で研修が終了してしまうことから、県学校のほか九州研修所にも2名の派遣を決定したことを説明。

土屋委員
西村課長

防火水槽解体撤去工事の場所について質問。

解体予定の防火水槽は佐津間地区で、借地に設置している20立方の古いタイプの防火水槽を地権者の要請により解体撤去することを説明。

川上議長
各委員

他に質問等無く承認を求めた。

全員承認した。

川上議長 石井課長 西村課長	議案3 その他について、議案、質問を求めた。 添付資料(最近3カ年の火災状況)について説明。 添付資料(最近3カ年の救急出動件数)について説明。 添付資料(傷病程度別搬送人員)について説明。
石井課長 西村課長	添付資料(消防訓練等指導状況)について説明。 添付資料(救命講習実施状況)について説明。 添付資料(消防団活動状況)について説明。
松原消防長 佐藤委員 松原消防長	添付資料(救命講習実施状況)について補足説明。 救急搬送先病院の選定について質問。 搬送先病院にあっては、掛かり付けなど患者、家族の要望を優先するが、病院からの転院搬送にあっては、要請病院から指示された病院となる。また、老人施設などからの要請にあっては、その状況に応じて対応していることを説明。
川上議長 各委員 川上議長	他に質問等なく承認を求めた。 全員承認した。 他に議案、質問等無く会議閉会を宣言した。

7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成19年 3月28日

氏名 山田 静雄

氏名 佐藤 誠